男女共同参画会議 第21回重点方針専門調査会	資料11
令和元年９月18日	

（通し番号161）

「女性活躍加速のための重点方針 2019」

Ⅱ　あらゆる分野における女性の活躍

５．あらゆる分野における女性の参画拡大・人材育成

a) 理工系分野への女子生徒等の進路選択や女性の社会参加を促進するためのアプローチ

（内閣府説明資料）

理工系分野における女性の活躍推進

（男女共同参画ＨＰ整備等経費、理工系分野における女性活躍事業費）（内閣府男女共同参画局推進課・総務課）

2年度概算要求額　0.2億円（元年度予算額　0.2億円）

事業概要・目的

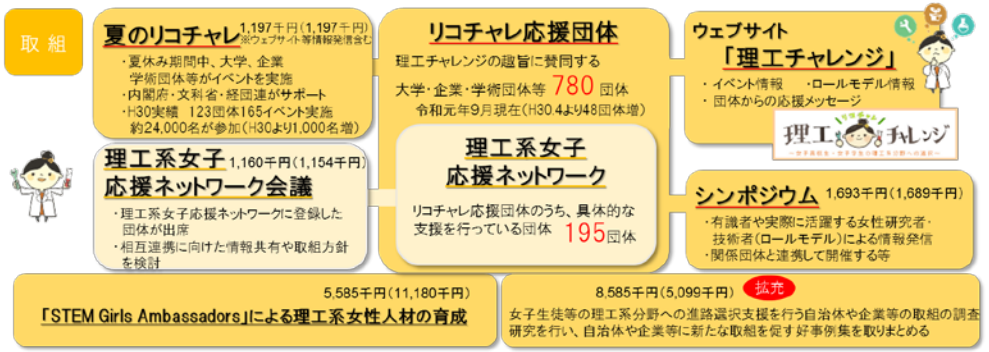
○我が国が国際競争力を維持・強化し、多様な視点や発想を取り入れて科学技術・学術活動を活性化していくためには、理工系分野の女性研究者・技術者となり得る人材を育成していく必要があります。

○平成27年12月に閣議決定された「第４次男女共同参画基本計画」においては、「科学技術・学術における女性の参画拡大」、「女性研究者・技術者が働き続けやすい研究環境の整備」及び「女子学生・生徒の理工系分野の選択促進及び理工系人材の育成」に取り組むこととしています。

○また、2019年6月にすべての女性が輝く社会づくり本部で決定された「女性活躍加速のための重点方針2019」においても、理工系を始めとする科学技術・学術分野における女性人材の裾野拡大を更に加速させるとしています。

○ロールモデルとなる理工系分野で活躍する女性による組織体（STEM Girls Ambassadors）により、女子生徒等に対し、多様なロールモデルを見せるとともに、社会全体で支援していく気運を醸成します。

事業イメージ・具体例



○「理工チャレンジ」、夏のリコチャレに係る情報発信

○シンポジウム
- 参加者数：300名程度

○理工系ネットワーク会議

○理工系女子活躍促進に向けた調査研究【拡充】

○STEM Girls Ambassadorsによるワークショップ
- 開催回数：5回
- 参加者数：500名程度

資金の流れ

国 → 業務請負 → 業者等

期待される効果

○産学官による連携体制を構築し、女子生徒等の理工系選択を促進する各事業を推進することで、理工系分野における女性活躍を推進します。

令和2年度要求額：22,101千円（令和元年度予算額： 24,400千円）

理工チャレンジ（リコチャレ！） ～女子生徒等の理工系への進路選択を促進～

現状

・大学（学部）の理工系の学生に占める女性の割合：理学系 27.9 % 工学系 15.4 %　文科省「学校基本調査」 令和元年度（速報）

・研究者の採用に占める女性の割合（自然科学系）：理学系 15.6 % 工学系 10.3 %　文部科学省調べ 平成27年

科学技術・学術活動を活性化するためには、女性研究者・技術者の活躍を促進し、多様な視点や発想を取り入れることが不可欠です。

科学技術系の進路への興味関心や理解を向上させるための取組を推進し、次代を担う女性の科学技術人材を育成します。

（第4次男女共同参画基本計画より抜粋・加筆）

根拠

第4次男女共同参画基本計画	：第5分野　科学技術・学術における男女共同参画の推進　3.女子学生・生徒の理工系分野の選択促進及び理工系人材の育成
女性活躍加速のための重点方針2019	：5. あらゆる分野における女性の参画拡大・人材育成 （4）科学技術・学術分野
科学技術基本計画	：第4章　科学技術イノベーションの基礎的な力の強化 （1）②ⅰ）女性の活躍推進
令和元年度革新的事業活動に関する実行計画	：9. Society 5.0時代に向けた人材育成　ⅱ）初等中等教育段階における人材育成　女子生徒の理系進路選択の促進
骨太方針2019	：2章　2. 人づくり革命、働き方改革、所得向上策の推進 （1）少子高齢化に対応した人づくり革命の推進 ⑧ 女性活躍の推進

取組

夏のリコチャレ　1,197千円（1,197千円）※ウェブサイト等情報発信含む

・夏休み期間中、大学、企業学術団体等がイベントを実施
・内閣府・文科省・経団連がサポート
・H30実績　123団体165イベント実施　約24,000名が参加（H30より1,000名増）

リコチャレ応援団体

理工チャレンジの趣旨に賛同する大学・企業・学術団体等 780 団体
令和元年9月現在（H30.4より48団体増）

ウェブサイト「理工チャレンジ」

・イベント情報　・ロールモデル情報
・団体からの応援メッセージ

理工チャレンジ ～女子高校生・女子学生の理工系分野への進路選択～

理工系女子応援ネットワーク会議　1,160千円（1,154千円）

・理工系女子応援ネットワークに登録した団体が出席
・相互連携に向けた情報共有や取組方針を検討

理工系女子応援ネットワーク

リコチャレ応援団体のうち、具体的な支援を行っている団体 195団体

シンポジウム　1,693千円（1,689千円）

・有識者や実際に活躍する女性研究者・技術者（ロールモデル）による情報発信
・関係団体と連携して開催する等

「STEM Girls Ambassadors」による理工系女性人材の育成　5,585千円（11,180千円）

調査研究　8,585千円（5,099千円）　拡充

女子生徒等の理工系分野への進路選択支援を行う自治体や企業等の取組の調査研究を行い、自治体や企業等に新たな取組を促す好事例集を取りまとめる